

## 平面部の交通量が減少

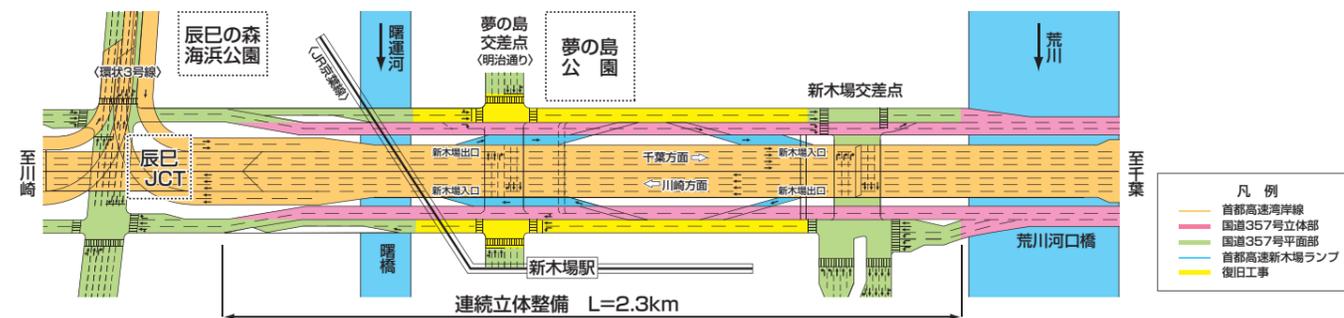
開通前に交差点を通過していた交通は、立体部に転換し、平面部の交通量が減少しました。



○国道357号の立体部および平面部の交通量の変化

## 新木場立体開通後の復旧工事

新木場地区整備は「新木場立体」開通後も引き続き、立体工事のために切り回していた一般部の4種道路部分の車道、歩道等の復旧工事を行います。



新木場立体終点部(江東区辰巳付近)



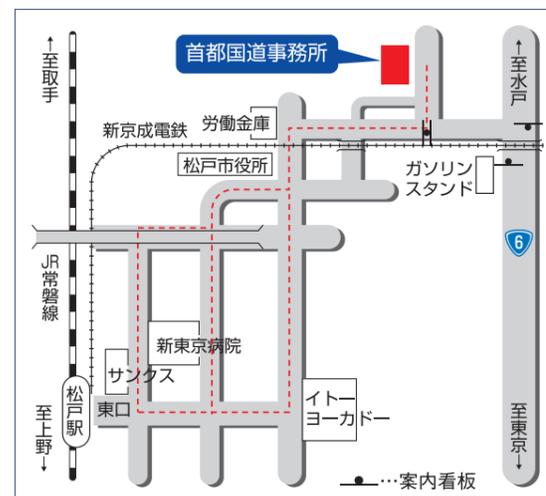
新木場立体終点部(千葉方面行き)

## 国道357号

# 東京湾岸道路 新木場地区整備 — 新木場立体 —

国土交通省関東地方整備局  
首都国道事務所

<http://www.ktr.mlit.go.jp/syuto/>  
〒271-0072 千葉県松戸市竹ヶ花86  
TEL 047(362)4111(代)



国土交通省関東地方整備局  
首都国道事務所

# 交差点の渋滞緩和と、東京湾岸道路としての道路機能向上に寄与

## ■東京湾岸道路とは

東京湾岸道路とは、周辺の諸都市を連絡する延長約160kmの幹線道路であり、内陸部の交通混雑の緩和を図るとともに、湾岸に立地する諸都市、諸施設の機能の効率化に資することを目的とし、広大な湾岸地域に点在する空港、港湾等の国際的業務機能をはじめとする物流拠点やオフィス、生産拠点、レジャー施設など、さまざまな都市機能の交流、連携を図る東京湾環状道路の一翼を担います。

### 《全体計画概要》

|     |   |
|-----|---|
| 区間  | 自：千葉県富津市<br>至：神奈川県横須賀市                            |
| 延長  | 供用延長<br>・高速道路部 約99km<br>・国道部 約99km<br>(平成25年4月現在) |
| 幅員  | 50~100m   |
| 車線数 | 高速道路部6車線<br>国道部(国道357号)4~8車線                      |

### 《東京湾岸道路全体図》

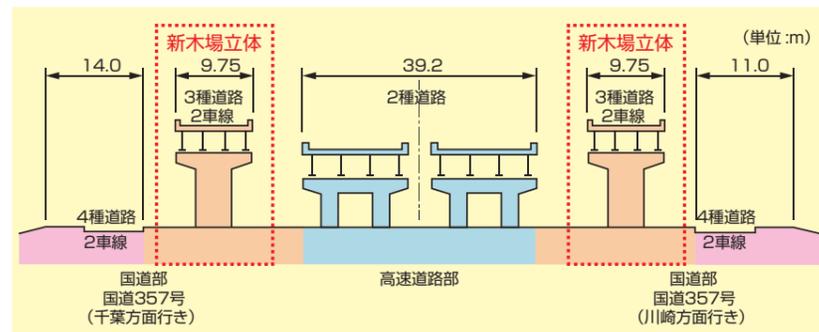


## ■新木場地区整備(新木場立体)

首都国道事務所では、国道357号の千葉県市川市二俣から東京都江東区辰巳区間の16.4kmを担当しています。

このうち、東京都江東区に位置する「新木場交差点」、および「夢の島交差点」は、主要渋滞箇所として慢性的な渋滞が発生しており、また、東京臨海高速道路Ⅱ期の整備に伴い、国道357号の交通量の増加が見込まれたため、渋滞対策が急務となっていました。平成26年3月に「新木場立体」が開通し、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されました。

### 《標準横断面図(新木場立体)》



### 《新木場地区整備概要》

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 区間     | 東京都江東区新木場1丁目<br>～東京都江東区辰巳3丁目 |
| 道路規格   | 3種1級                         |
| 設計速度   | 80km/h                       |
| 延長     | 約2,300m                      |
| 幅員     | 9.75m(川崎方面行き・千葉方面行き)         |
| 車線数    | 4車線(片側2車線)                   |
| 都市計画決定 | 昭和59年3月(都市計画変更)              |



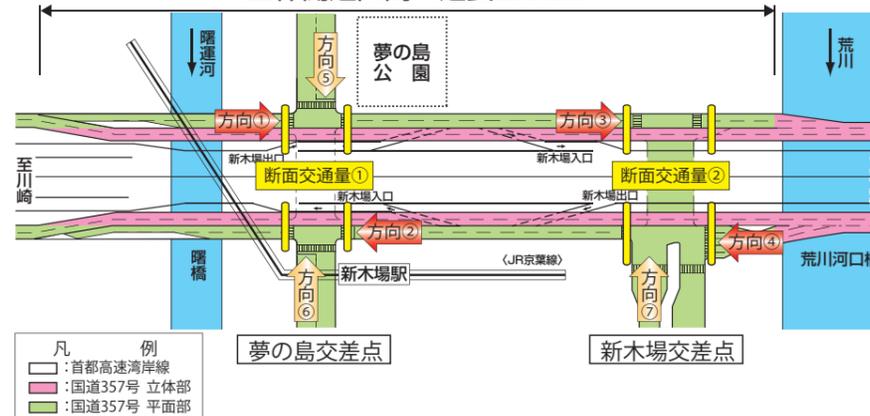
夢の島交差点付近(千葉方面を望む)

## ■新木場立体の整備効果

### 《調査箇所図》

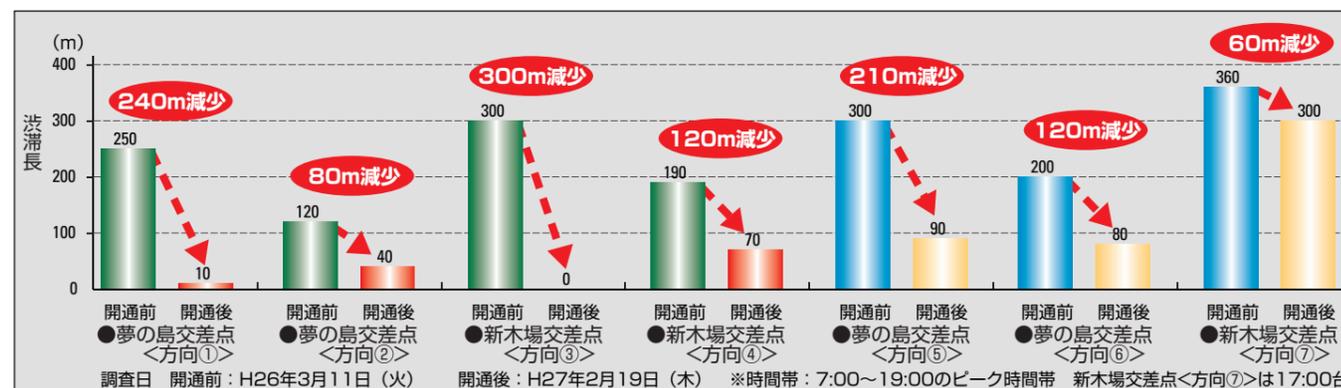


### 立体開通区間 延長2.3km



## 国道357号および交差道路の渋滞が緩和

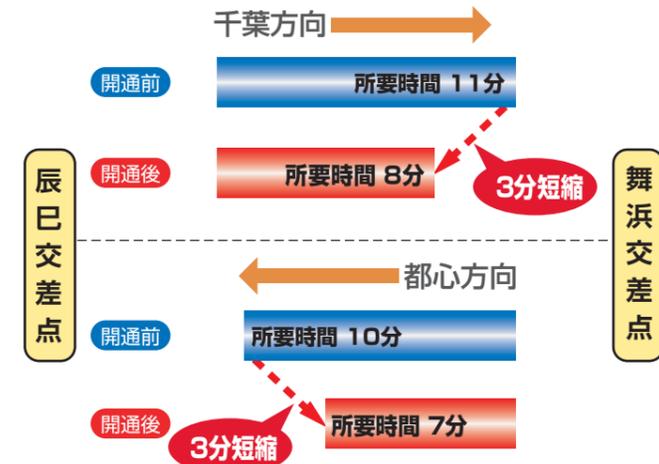
国道357号平面部の交通量が減少したことにより、夢の島交差点および新木場交差点の渋滞長が減少しました。



○国道357号の渋滞長の変化と開通区間と交差する道路の渋滞長の変化

## 辰巳交差点～舞浜交差点の所要時間が短縮

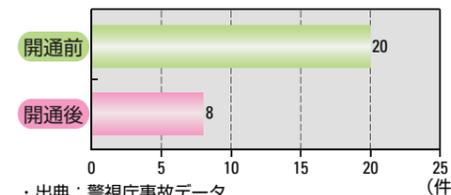
立体部が開通したことにより、国道357号走行時の所要時間が短縮され、走行性が向上しました。



・平均所要時間データ  
開通前：民間プローブ (H25年4月～H26年2月)  
開通後：民間プローブ (H26年4月～H27年2月)  
○開通前後の「国道357号の平均所要時間」(辰巳交差点～舞浜交差点)

## 交通事故件数が減少

夢の島交差点から新木場交差点間の交通事故件数は、開通前の20件から8件へと約6割減少しており、安全性が向上しました。



・出典：警視庁事故データ  
開通前：H25年4月1日～H25年12月31日  
開通後：H26年4月1日～H26年12月31日  
○交通事故件数の変化(立体開通区間)